

フロアマップ

ユーザーガイド



pepper for Biz 2.0

目次

はじめに 2

- 概要 2
- 対象ユーザー 3
- Pepperの設置場所 3
- 動作環境 4
- 機能追加のお知らせ 4

フロアマップの設定 5

- お仕事の設定 5
- フロアマップ管理画面におけるコンテンツの設定 6
- フロアマップアプリにおける設定 19

アプリの使い方 25

- アプリ起動時画面 25
- 目的地を探す 27

アプリ終了 29

トラブルシューティング 30

はじめに

概要

フロアマップアプリは、Pepperがフロア情報をお客様にご案内できるようになるPepperアプリです。ショッピングモールやホテルなどの商業施設・宿泊施設や、市役所・区役所をはじめとする公共施設に導入いただくことで、Pepperがインフォメーション係として働いてくれます。フロア情報や建物内の店舗の情報などはWeb上の管理画面で登録できます。



図1：フロアマップアプリのアイコン

以降、アプリを示す時は「フロアマップアプリ」、Web管理画面を示すときは「フロアマップ管理画面」と表記します。

対象ユーザー

- 3歳以上の健康なお客様
- 身長100cm以上のお客様

車椅子をお使いの方の使用は想定していません。

ペットによる使用は想定していません。

無線LANを使用するため、ペースメーカーをお使いの方は22cm以上離れていただく必要があります。

Pepperの設置場所

フロアマップアプリを快適、安全にお使い頂くために、あらかじめ以下の条件を満たすスペースが必要です。

- 屋内
- 直射日光の当たらない場所
- 暖房機や熱源から離れた場所
- 水平で段差のない硬い床
- 足元斜め前方に空いている3つ穴の赤外線センサーから約50cmメートル以上の空きスペース
- 充電器のケーブルを含め、周囲のスペースにもものがない場所

動作環境

表1：動作環境

項目	説明
機体	Pepper for Biz
NAOqiバージョン	2.4.3.28
ネットワーク	無線LAN (Wi-Fi) 接続可能な環境

機能追加のお知らせ

変更日：2016年11月21日

表2：ver.1.0からの追加点

追加	作成した施設情報のエクスポート・インポートが可能
----	--------------------------

フロアマップの設定

フロアマップアプリ使用開始までの流れは以下の通りです。

1. お仕事の設定
2. フロアマップ管理画面におけるコンテンツの設定
3. フロアマップアプリの設定

お仕事の設定

フロアマップアプリを使用するには、Pepper for Bizのクラウドサービスである**お仕事かんたん生成**でお仕事を作成する必要があります。

お仕事かんたん生成には、接客、受付、フリーという3つのテンプレートが用意されていて、その中のマイアプリというタスクにフロアマップアプリを登録します。

マイアプリにフロアマップアプリを登録するには、**ビヘイビアパス**という情報が必要です。フロアマップアプリのビヘイビアパスは以下の通りです。

biz_sbr_floormap/.

お仕事かんたん生成の使用方法やお仕事（フロアマップアプリ）の起動方法はこちらをご覧ください。

表3：Pepper for Bizの使い方

項目	URL
Pepper for Bizサービス全体	http://help.mb.softbank.jp/robot/pepper-for-biz/pc/index.html
ビヘイビアパス設定方法	http://help.mb.softbank.jp/robot/pepper-for-biz/pc/06-03.html
お仕事起動方法	http://help.mb.softbank.jp/robot/pepper-for-biz/pc/06-07.html

フロアマップ管理画面におけるコンテンツの設定

フロアマップアプリで案内をする施設・場所の情報は、以下の手順でフロアマップ管理画面から行います。

①フロアマップ管理画面にアクセス

<https://flr.robot.softbank.jp/>

アクセスすると、ログイン画面（図2）が表示されるので、お持ちのSBRアカウント（あるいはアルデバランアカウント）のメールアドレスとパスワードを入力して、ログインしてください。ログイン後、フロアマップ管理画面が表示されます（図3）。



図2：ログイン画面

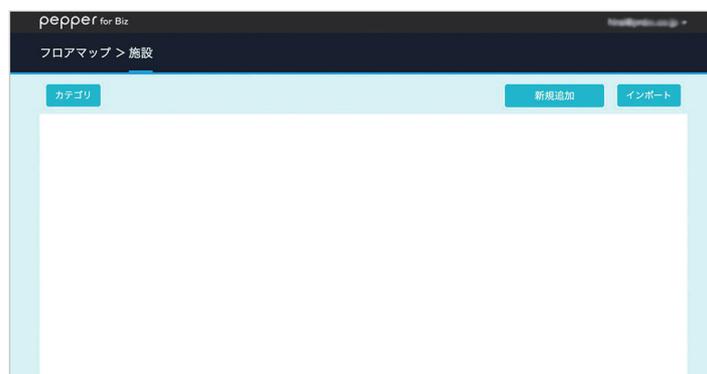


図3：フロアマップ管理画面

②施設情報を設定

【新規追加】

フロアマップ管理画面（図3）の「新規追加」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



図4：施設新規追加画面（入力前）



図5：施設新規追加画面（入力後）

施設名は、施設管理用の名称です。

入力が完了したら、図5の「作成」ボタンをクリックすると施設一覧画面に戻り、入力した施設名が表示されます（図6）。

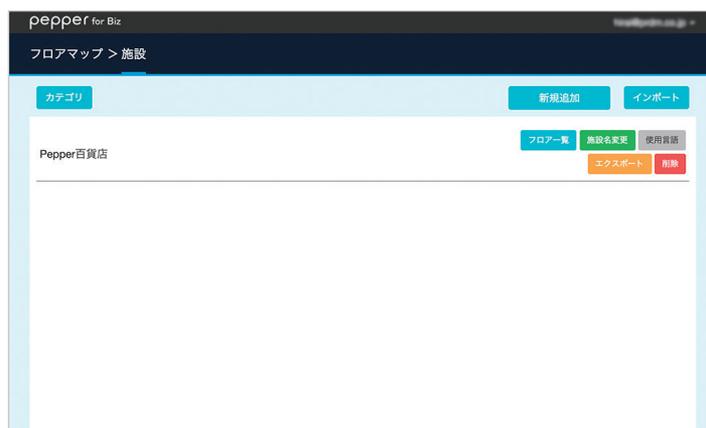


図6：施設一覧画面

【施設名変更】

施設一覧画面（図6）で「施設名変更」ボタンをクリックすると施設名変更画面が表示されます（図7）。



図7：施設名変更画面

施設名を入力して「更新」ボタンをクリックすると更新されます。

【施設名削除】

施設一覧画面（図6）で「削除」ボタンをクリックすると、削除画面が表示されます（図8）。



図8：施設削除画面

施設削除画面（図8）で「削除」ボタンをクリックすると、施設が削除されます。

※施設以外のデータも「削除」ボタンをクリックすると同様に削除画面が表示され、削除画面の「削除」ボタンをクリックするとデータが削除されます。

【言語設定】

施設一覧画面（図6）で「使用言語」ボタンをクリックすると施設使用言語設定画面が表示されます（図9）。



図9：施設使用言語設定画面

使用する言語にチェックを入れて「設定」ボタンをクリックすると、施設一覧画面（図6）に戻ります。使用言語を1つも選択していないと、エラーメッセージが表示されます（図10）。



図10：施設使用言語設定エラー画面

③カテゴリ情報を設定

【カテゴリ情報新規追加】

施設一覧画面（図6）で「カテゴリ」ボタンをクリックすると、カテゴリ一覧画面が表示されます（図11）。

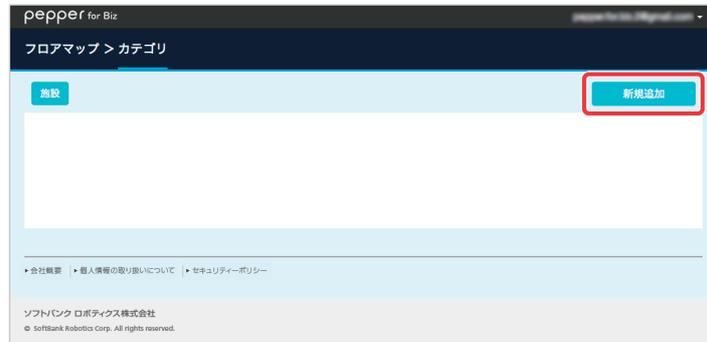


図11：カテゴリ一覧画面

「新規追加」ボタンをクリックすると、カテゴリ情報設定画面が表示されます（図12）。カテゴリ名は、各ショップを分類するための名称で、カテゴリ一覧画面（図11）で使用されます。使用言語に設定した言語のカテゴリ名だけ指定します。



図12：カテゴリ情報設定画面

「カテゴリ名」を入力し「作成」ボタンをクリックすると、カテゴリ一覧画面（図11）に戻ります。

【カテゴリ情報編集】

カテゴリ一覧画面で編集したいカテゴリの「編集」ボタンをクリックすると、カテゴリ情報設定画面が表示されます（図12）。カテゴリ名を編集して「更新」ボタンをクリックすると、更新されてカテゴリ一覧画面（図11）に戻ります。

【カテゴリ情報削除】

カテゴリ一覧画面で削除したいカテゴリの「削除」ボタンをクリックすると、削除画面が表示され、もう一度「削除」ボタンをクリックすると削除されます。

※ショップに設定済みのカテゴリは「削除」ボタンが無効化されていて、削除できません。

④フロア情報（場所情報）を設定

【フロア情報（場所情報）新規追加】

施設一覧画面（図6）で「フロア一覧」ボタンをクリックすると、フロア一覧画面（図13）が表示されます。

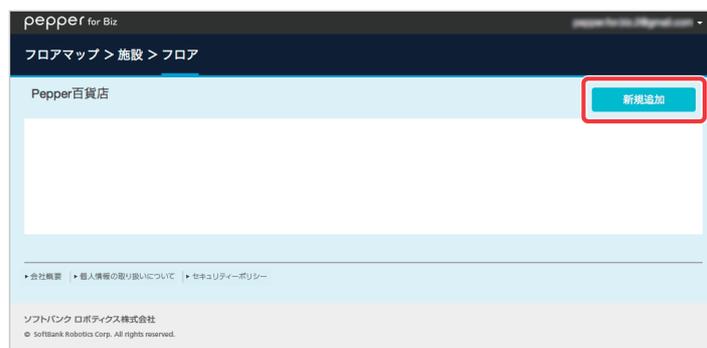


図13：フロア一覧画面

「新規追加」ボタンをクリックすると、フロア新規追加画面が表示されます（次ページ図14）。



図14：フロア新規追加画面

表4：フロア（場所）情報の設定項目

項目	説明
フロア名称	フロア（場所）の名称（必須）
フロア概要	フロア（場所）の概要情報。アプリ使用時の場所一覧表示時に名称と共に表示される（必須）
フロアマップ	フロア（場所）のマップ画像。推奨画像サイズ：横1500px、縦850px。画像容量上限：800KB。対応フォーマット：PNG、JPEG

各項目を設定したら、フロア新規追加画面（図15）の「作成」ボタンをクリックするとフロア一覧画面（図13）に戻り、入力したフロア名称とフロア概要が表示されます（次ページ図15）。

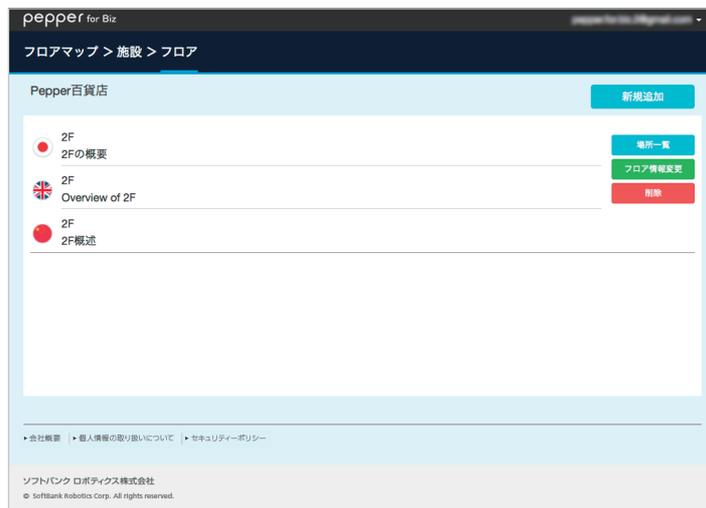


図15：フロアー一覧画面（設定後）

【フロア（場所）情報変更】

フロアー一覧画面（図15）で「フロア情報変更」ボタンをクリックすると、フロア情報変更画面が表示されます（図16）。

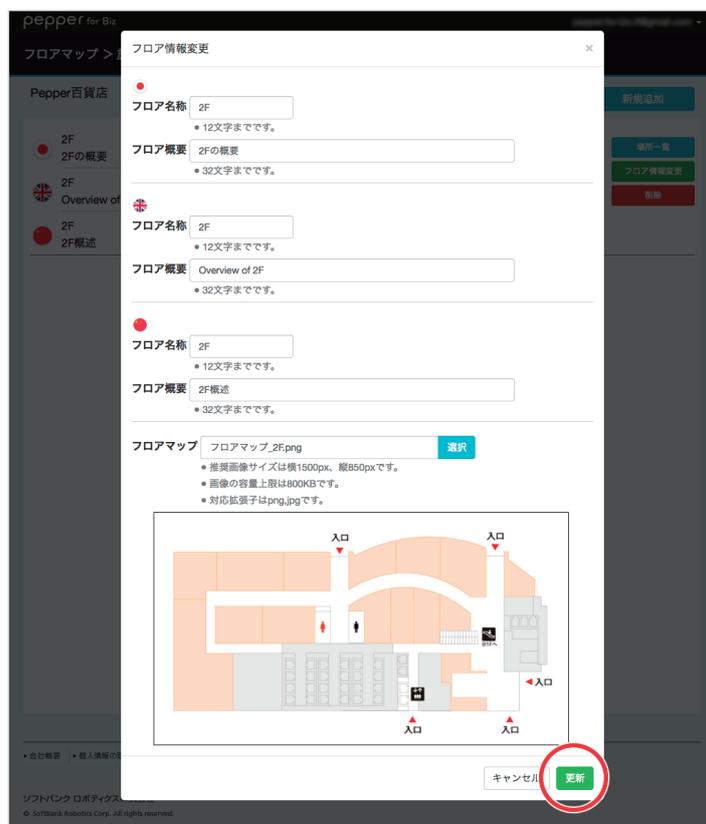


図16：フロア情報変更画面

フロア（場所）の情報を変更して「更新」ボタンをクリックすると更新されます。

⑤場所（ショップ）情報を設定

【場所（ショップ）情報新規追加】

フロア一覧画面（図15）で「場所一覧」ボタンをクリックすると、場所一覧画面が表示されます（図17）。

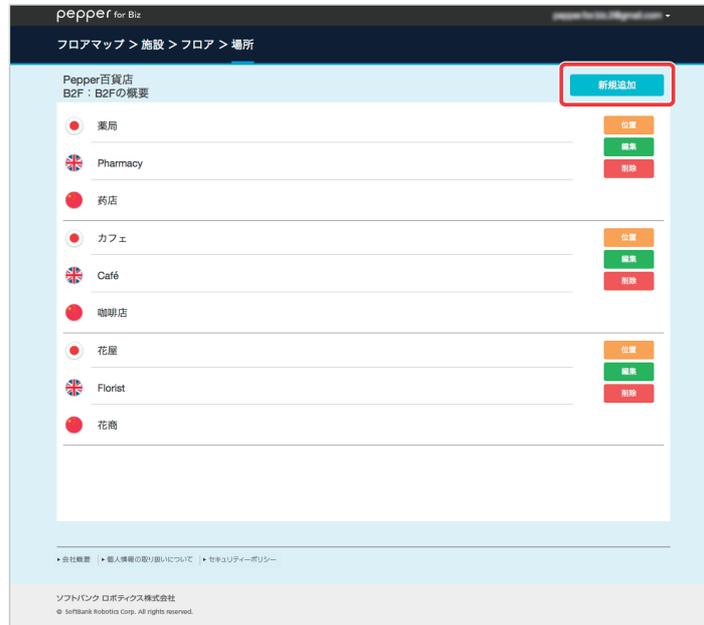


図17：場所一覧画面

「新規追加」ボタンをクリックすると、場所情報画面が表示されます（次ページ図18）。

表5：場所（ショップ）情報の設定項目

項目	説明
場所名	場所（ショップ）の名称（必須）
場所説明文	場所（ショップ）の詳細情報。アプリ使用時の場所詳細画面で場所画像と共に表示される説明文（必須）
Pepper発話文	場所（ショップ）の詳細情報。アプリ使用時の場所詳細画面でPepperが発話するセリフ（必須）
カテゴリ	場所（ショップ）のカテゴリ。設定済みのカテゴリから選択（必須）
場所ロゴ	場所（ショップ）のアイコン画像。推奨画像サイズ：横160px、縦160px 画像の容量上限：200KB。対応フォーマット：PNG、JPEG
場所画像	場所（ショップ）の詳細画像。推奨画像サイズ：横700px、縦750px 画像の容量上限：500KB。対応フォーマット：PNG、JPEG

場所情報

場所名

場所説明文

Pepper発話文

場所名

場所説明文

Pepper発話文

場所名

場所説明文

Pepper発話文

ジャンル

場所ロゴ

場所画像

キャンセル 作成

図18：場所情報画面

【場所（ショップ）情報変更・削除】

場所一覧画面（図18）で「編集」ボタンおよび「削除」ボタンをクリックすると、それぞれ編集画面、削除画面が表示され、編集・削除が可能になります。

【場所（ショップ）位置設定】

場所一覧画面（図17）で「位置」ボタンをクリックすると、位置設定画面が表示されます（次ページ図19）。位置設定画面では、場所（ショップ）の存在するフロアに設定されているマップが表示されます。

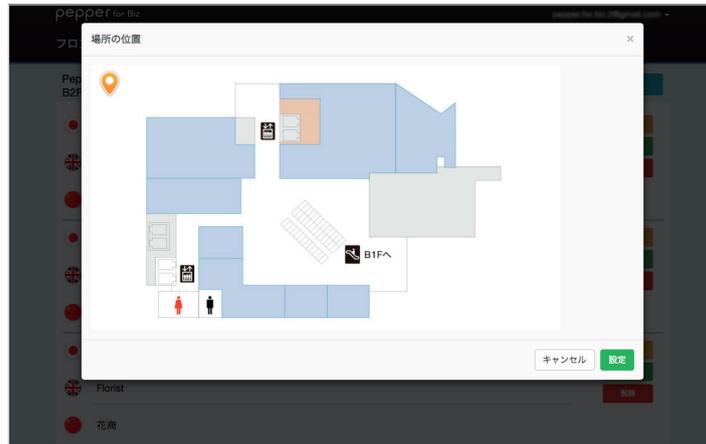


図19：位置設定画面（設定前）

マップ上で場所（ショップ）の位置をクリックすると、クリックした箇所に場所アイコン画像が設定されます（図20）。

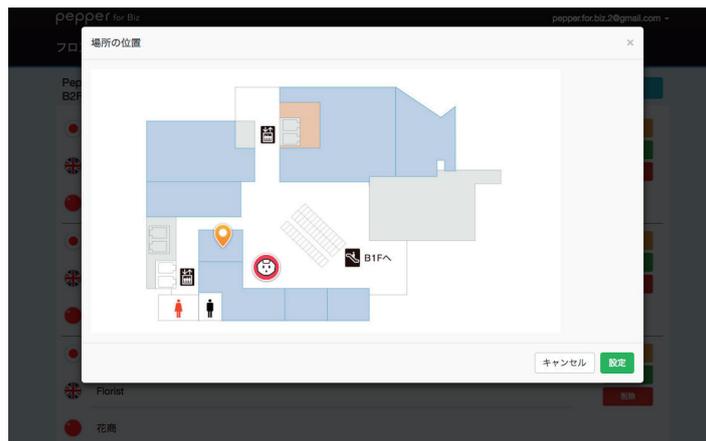


図20：位置設定画面（設定後）

⑥フロアと場所の並び順変更

フロア一覧画面（図21）および場所一覧画面（図22）で、各フロアおよび場所にマウスポインタをかざすと画面左部に矢印ボタンが表示されます。この矢印ボタンをクリックすると、並び順を変更できます。

管理画面での並び順がPepperでの表示順となります。



図21：並び順変更（フロア一覧）

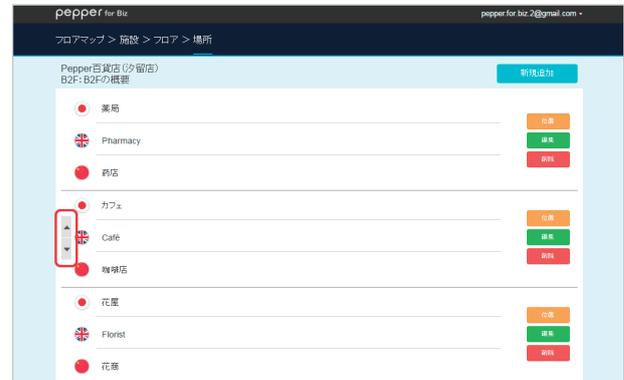


図22：並び順変更（場所一覧）

⑦施設情報のエクスポート・インポート

作成、保存した施設情報はローカルファイルにエクスポート（ダウンロード）することができます。

また、エクスポート（ダウンロード）したファイルをインポート（アップロード）することで、施設情報を反映することができます。別アカウントで作成した施設情報を移行する際や、指定の施設情報を複製したい際にも、ご使用いただけます。

エクスポートの手順は以下の通りです。

1. 作成した「施設一覧画面」（図6）で「エクスポート」ボタンをクリック（図23）
2. ローカル「floor_map_export_YYYY-mm-dd.tar.gz」ファイル保存（*「YYYY-mm-dd」はエクスポートを行った日が打刻される）

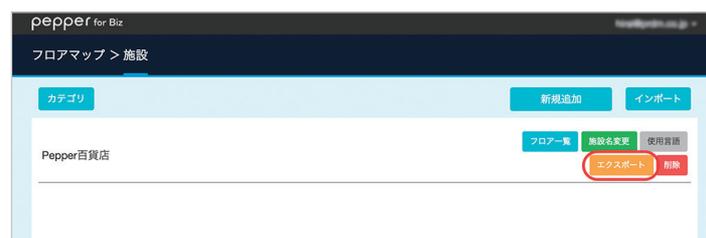


図23：フロアマップ設定値のエクスポート

インポートの手順は以下の通りです。

1. 「フロアマップ管理画面」画面右上の「インポート」ボタンをクリック（図24）
2. 「選択」ボタンをクリックし、「floor_map_export_yyyy-mm-dd.tar.gz」形式のファイルを指定して、「インポート」ボタンをクリック
3. インポート成功を告げる「ポップアップ画面」（図25）が表示され、自動的に「施設一覧画面」に遷移（図6）



図24：フロアマップ設定値のインポート



図25：フロアマップ設定値のインポート完了

フロアマップアプリにおける設定

フロアマップアプリにフロア情報を導入するために、以下の手順で設定を行います。

①フロアマップアプリを起動

「お仕事の設定」で設定したマイアプリからフロアマップアプリを起動します。フロアマップ情報が未設定の状態ではアプリを起動すると図26の画像がPepperのディスプレイに表示されます。

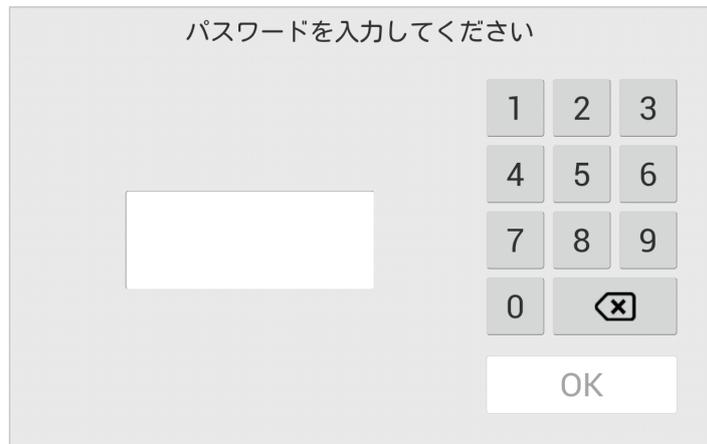


図26：初回起動時の画面

②管理メニューパスワードの入力

Pepper for Bizの初期設定時に設定した管理メニューパスワード（4桁の数字。初期値は9999）を入力します。パスワードの入力に成功すると、図27～29のような設定画面が表示されます。パスワードが誤っていると、次ページの図30のようなエラーが表示されません。



図27：設定変更画面（施設リスト）



図28：設定変更画面（表示設定）



図29：設定変更画面（接続設定）



図30：管理メニューパスワードエラー画面

③フロアマップ管理画面との接続

【認証コード発行】

フロアマップ管理画面の右上部（SBRアカウント名が表示されている箇所）をクリックし、認証コードを発行します（図31、32）。

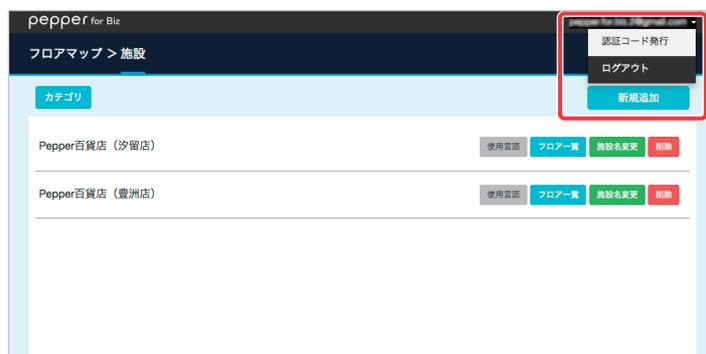


図31：認証コード発行（その1）



図32：認証コード発行（その2）

【認証コードの入力】

フロアマップ管理画面（図32）で発行された4桁の認証コードを、フロアマップアプリの設定変更画面（図29）で入力し「接続」ボタンをタップします。認証に成功すると、「認証成功」と表示され（図33①）、その直後に施設データの取得が開始されます。施設データの取得が完了すると、「取得完了」と表示されます（図33②）。認証に失敗すると、図34の画面が表示されます。



図33：認証成功



図34：認証失敗

④施設データの取得

「施設リスト」タブの「データ取得」ボタンをタップし、施設データを取得します（図35）。



図35：施設データ取得

施設データ取得中はダウンロード数が表示され（次ページ図36）、完了すると「取得完了」と表示されます（次ページ図37）。



図36：施設データ取得中



図37：施設データ取得完了

⑤Pepperの現在地を設定

以下の手順でPepperの現在地を設定します。

1. 「施設リスト」タブの「Pepper現在地設定」ボタンをタップ（図38）
2. Pepperを設置するフロアを選択（図39）
3. Pepperの位置をタップして設定（図40）
4. 「保存」ボタンをタップ（図40）



図38：Pepper現在地設定ボタン

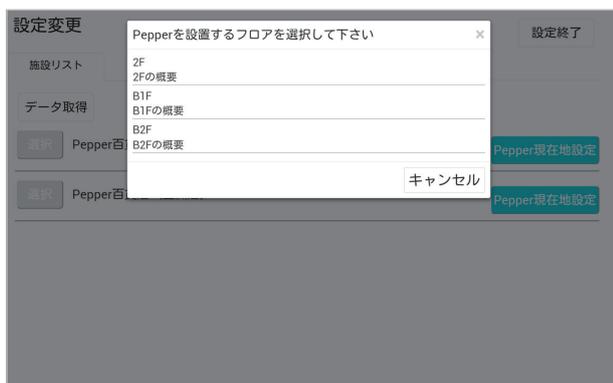


図39：Pepper設置フロア選択



図40：Pepper位置設定

⑥フロアマップアプリ起動時の画面

以下の手順でフロアマップアプリ起動時の画面を選択できます。

1. 「表示設定」タブ右側部分にある「アプリ起動時画面」をタップ（図41）
2. アプリ起動時の画面を選択（図42）



図41：アプリ起動時画面ボタン

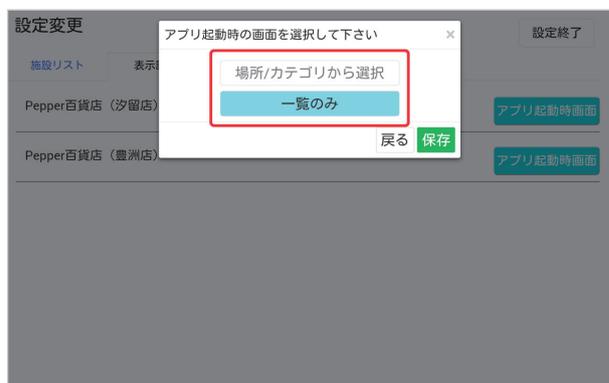


図42：アプリ起動時画面選択

図42で、アプリ起動時の画面を"場所/カテゴリから選択"を選んだ場合は図43の画面が、"一覧のみ"を選択した場合は図44が、アプリ起動時に表示されます。



図43："場所/カテゴリから選択"の場合



図44："一覧のみ"の場合

⑦施設情報の選択

設定変更画面の「施設リスト」タブにある「選択」ボタンをタップすることで、フロアマップの案内が開始されます（図45）。施設が選択済みの場合、図46の状態になります。



図45：施設を選択（未選択状態）



図46：施設を選択（選択済状態）

初期設定完了後、アプリを起動すると、設定によって図43または図44の画面が表示されます。

⑧設定の変更

起動画面の上部（図47、48赤枠部分）を5秒以上長押しすると、設定画面を呼び出すことができます。



図47：設定画面の呼び出し（その1）



図48：設定画面の呼び出し（その2）

アプリの使い方

アプリ起動時画面

アプリを起動した時の画面は、設定変更画面の「アプリ起動時画面」の設定により異なります。



図49：起動時画面設定（その1）

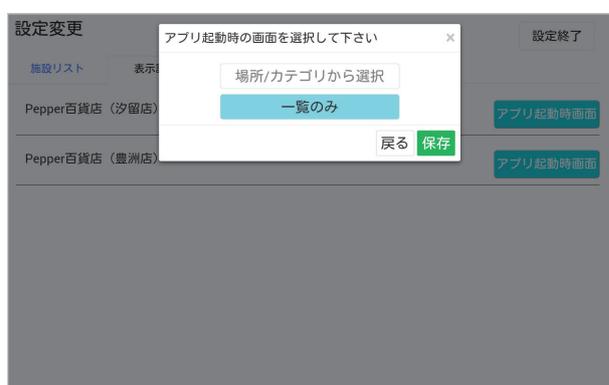


図50：起動時画面設定（その2）



図51：“場所/カテゴリから選択”の場合



図52：“一覧のみ”の場合（日本語）

選択言語によって表記が変化します（次ページ図53、54）。

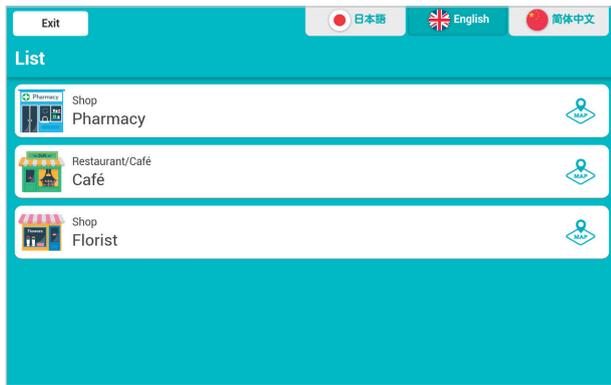


図53：“一覧のみ”の場合（英語）

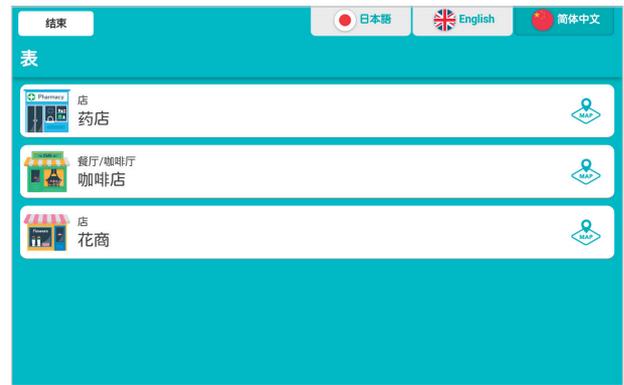


図54：“一覧のみ”の場合（中国語）

目的地を探す

場所から探す

アプリ起動時画面（図51）で「場所から探す」ボタンをタップすると、以下の手順でフロアから場所の情報まで表示できます。

1. フロアを選択（図55）
2. 場所（ショップ）を選択（図56）
3. 場所（ショップ）の詳細を表示（図57～60）



図55：フロアを選択

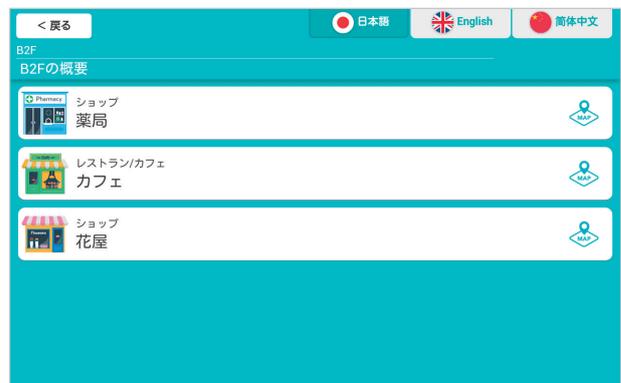


図56：場所（ショップ）を選択



図57：場所（ショップ）情報
（データ - 日本語）

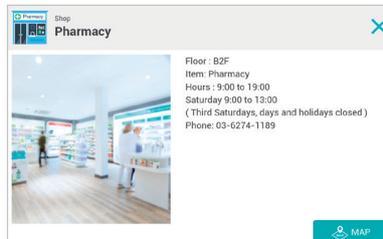


図58：場所（ショップ）情報
（データ - 英語）



図59：場所（ショップ）情報
（データ - 中国語）



図60：場所（ショップ）情報（マップ）

カテゴリーから探す

アプリ起動時画面（図51）で「カテゴリーから探す」ボタンをタップすると、カテゴリー一覧画面が表示されます（図61～63）。



図61：カテゴリー一覧画面
（日本語）

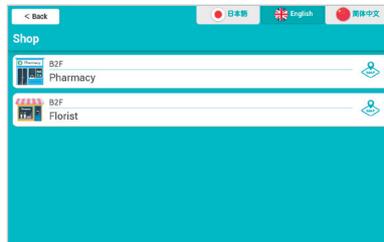


図62：カテゴリー一覧画面
（英語語）



図63：カテゴリー一覧画面
（中国語）

カテゴリーを選択すると、図56のような場所（ショップ）の一覧が表示されるので、目的の場所（ショップ）を選択すると詳細情報（図57～60）が表示されます。

アプリ終了

以下いずれかの方法でアプリを終了できます。

ディスプレイから終了

起動時画面の「終了」ボタンをタップすると、アプリが終了します。



図64：ディスプレイから終了（その1）



図65：ディスプレイから終了（その2）

バンパーから手動終了

Pepperの前方左右2つのバンパーを同時に押すとアプリが終了します。

トラブルシューティング

アプリが起動しない

お仕事かんたん生成でマイアプリに設定したビヘイビアパスが間違っている可能性があります。設定を確認してください。ビヘイビアパスは本ユーザーガイドの5ページ「お仕事の設定」をご確認ください。

アプリがPepperにインストールできていない可能性があります。Pepper本体の設定メニューに入り、アプリケーションのインストール、アップデートが完了しているか確認をしてください。インストール、アップデート方法は以下Webページをご参照ください。

「基本アプリ・マーケットアプリが起動しない」

<http://www.softbank.jp/robot/biz/support/trouble/app-management/activation/>

フロアマップ管理画面との接続が失敗する（「接続できませんでした」と表示される）

以下の手順で対処してください。

①認証コード確認

フロアマップ管理画面で発行された認証コード（4桁の数字）が正しいことを確認してください。

②認証コード再発行

フロアマップ管理画面の「認証コード発行」画面から、再度認証コードを発行してください。認証コードの有効期限は5分間のため、発行後5分間以内にフロアマップアプリの設定変更画面より接続を行ってください。

③ネットワーク環境確認

ネットワークが正しく接続されていることを、以下のWebページで確認してください。

「トラブルシューティング（ネットワークが繋がらない場合）」

<http://www.softbank.jp/robot/biz/support/trouble/setting/network/>

④SBRアカウント（あるいはアルデバランアカウント）の大文字／小文字を確認する

フロアマップアプリでは、SBRアカウント（あるいはアルデバランアカウント）の大文字／小文字を区別するため、Pepper for Biz本体のSBRアカウント（あるいはアルデバランアカウント）が正しく入力されているかご確認ください。